



2016年4月26日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 室町 正志
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 広報・IR部長 長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

当社保有の関係会社株式の評価損の計上及び当社個別財務諸表の資本の欠損について

当社は、2015年度(2016年3月期)決算において、米国における電力システム事業(当社子会社のウェスチングハウス社の事業を除く。以下同じ)に加えパソコン事業、映像事業等の損益悪化によって、下記の当社保有の関係会社株式の実質価額が投資簿価を下回り、現時点では当面回復が見込めないと判断されることから、当社個別財務諸表(単独決算)において、当該株式の評価損を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 関係会社名 : TOSHIBA AMERICA, INC. (以下「東芝アメリカ社」)
2. 評価損額 : 約1,000億円
3. 評価損の理由:

東芝アメリカ社は、当社米国事業の総括現地法人で、電力システム事業全般、パソコン事業や映像事業等の現地法人の株式を保有する持株会社です。今般、米国における電力システム事業に加え、パソコン事業、映像事業等の損益悪化(この損益悪化は本日公表の2016年3月期通期連結業績予想に織り込み済み)によって、東芝アメリカ社株式の実質価額が投資簿価を下回り、現時点では当面回復が見込めないと判断されたため、東芝アメリカ社の株式について当社個別財務諸表(単独決算)において上記評価損を計上する予定です。本件は当社連結財務諸表に影響を与えません。

当社個別財務諸表(単独決算)におけるその他の関係会社株式及びその他の資産の減損については現在精査中です。

なお、本日付「当社原子力事業に係るのれんの減損及びWECグループ株式の評価損について」でお知らせいたしましたとおり、当社個別財務諸表（単独決算）にWECグループ株式の評価損約2,200億円を計上する予定です。これら合計約3,200億円を含め2015年度（2016年3月期）の純損失約3,240億円計上の影響により、当社個別財務諸表（単独決算）上の純資産は約3,738億円程度となる見込みです。当社個別財務諸表（単独決算）上の資本金の額及び法定準備金の額はそれぞれ約4,399億円及び約139億円のため、800億円程度の資本欠損が生じる見込みです。資本の欠損につきましては、減資を含めた施策を検討中であり、確定次第お知らせいたします。

詳細につきましては、本日公表の「2015年度業績予想の修正について」の9頁をご参照ください。

当社は、引き続き、財務基盤改善を最優先に、財務規律の再構築と資産売却等の資金耐力・株主資本強化の施策を実行してまいります。

以 上